

担当教員	那須田 晃子
曜日・時限・開講期	木曜日 2時限 前期
期間	前期
授業形態	講義
学年	1年生
単位	2
開講キャンパス	東松山

授業の概要	現実世界での起きている問題を、国際経済学のフレームワークで考えることができる力を養います。前半では、貿易が行われる理由を理論的な側面から考察します。またなぜ国によって自由主義的または保護主義的な貿易政策を取るのか？について学びます。後半では国際金融についての初歩的な内容を理解します。講義内では実際の時事ニュースや研究論文についても取り上げます。
授業の到達目標	1. 貿易政策について関心を持つ 2. 国ごとの貿易政策の違いについて自分の考えを明確にできる 3. 国際経済学のフレームワークを理解する
授業の形態	①対面授業 講義形式で行います。演習問題を解きながら理解を深めます。

授業計画	回数	授業内容	担当教員
	第1回	はじめに： 国際貿易とは何か？	那須田晃子
	第2回	貿易の重要性	那須田晃子
	第3回	比較優位①	那須田晃子
	第4回	比較優位②	那須田晃子
	第5回	貿易自由化の国際機関（GATT/WTO）	那須田晃子
	第6回	貿易保護政策	那須田晃子
	第7回	世界の貿易体制と地域経済統合	那須田晃子
	第8回	中間試験	那須田晃子
	第9回	多国籍企業と直接投資	那須田晃子
	第10回	多国籍企業と企業内貿易	那須田晃子
	第11回	国際収支統計①	那須田晃子
	第12回	国際収支統計②	那須田晃子
	第13回	国際収支と為替レート	那須田晃子
	第14回	購買力平価	那須田晃子
	第15回	まとめ	那須田晃子

授業外の学習	授業後に内容確認の小課題を出します。授業外の学習に必要な時間は1回の講義に対して4時間。		
教科書	テキストは指定しません。下記の参考文献から作成した講義資料を配布します。		
参考文献など	クルーグマン 他、『国際経済学 理論と政策〔原書第10版〕上：貿易編』、丸善出版、2017年 石川 城太、椋 寛、菊地 徹、『国際経済学をつかむ 第2版』、有斐閣、2013年 戸堂 康之、『開発経済学入門』、新世社、2015年		
成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	70	中間試験30%、期末試験40%
	実技評価	0	なし
	レポート評価	0	なし
	平常点評価	30	授業後の内容確認課題30%
その他	0	なし	
履修上の注意	ありません		
連絡先・連絡方法など	授業時間の前後に質問を受け付けます。また個別相談がある場合はメールでご連絡ください。		
その他	グローバル化に伴い他国との経済的な繋がりが密接になる一方で、近年は保護主義的な措置を取る国も増えてきました。本講義では時事ニュースを多く取り入れながら、理論的な考察ができるようになる力を身につけることを目標としています。		